

ケンサキイカ情報（令和7年度 第4号）

参画機関（連絡先電話番号）

鳥取県水産試験場（0859-45-4500）

福岡県水産海洋技術センター（092-806-0876）

島根県水産技術センター（0855-22-1720）

佐賀県玄海水産振興センター（0955-74-3021）

山口県水産研究センター（0837-26-0711）

長崎県総合水産試験場（095-850-6304）

発行日 令和7年9月8日

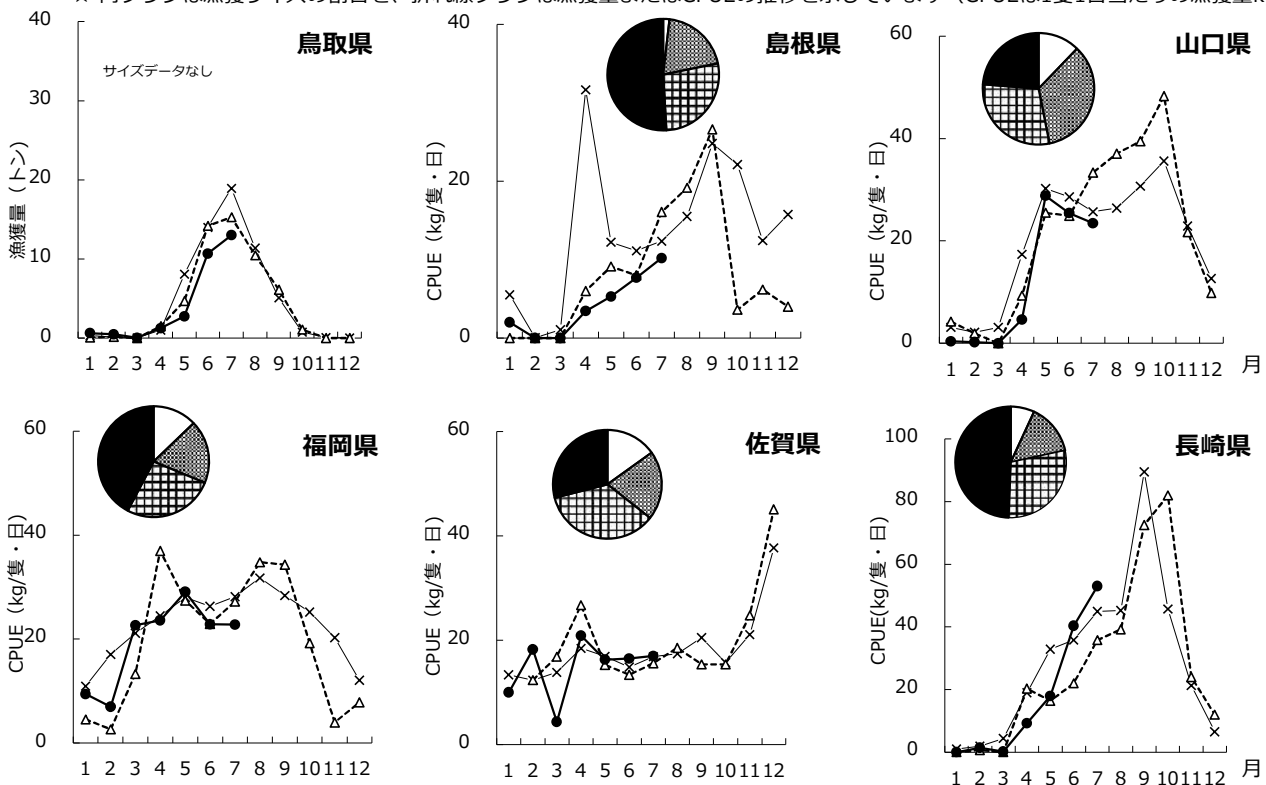
これらの情報は各県の主要漁港データを利用しています

I：7月のイカ釣り漁況

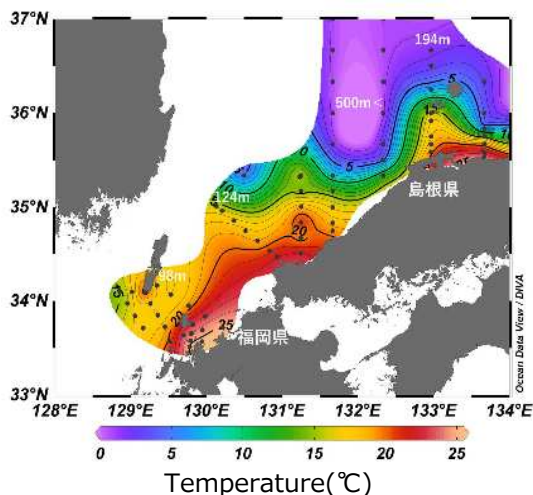
鳥取県	主要漁港の合計水揚量は、前年、平年を下回りました（前年比85%、平年比69%）。
島根県	主要漁港の合計水揚量は、前年、平年を下回りました（前年比60%、平年比33%）。
山口県	代表2地区の水揚量は、前年と平年を下回りました（前年比54%、平年比61%）。
福岡県	代表港の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました（前年比137%、平年比84%）。
佐賀県	標本漁港の水揚量は、前年と平年を上回りました（前年比163%、平年比119%）。
長崎県	標本漁協の水揚量は、前年を上回り、平年を下回りました。（前年比132%、平年比46%）。

★ 水揚量の前年・平年比の基準は、90%以下では「下回る」、91～109%では「並み」、110%以上では「上回る」としています

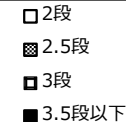
★ 円グラフは漁獲サイズの割合を、折れ線グラフは漁獲量またはCPUEの推移を示しています（CPUEは1隻1日当たりの漁獲量kg）



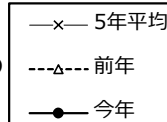
II：8月上旬の底層水温



円グラフ
の凡例



折れ線
グラフの
凡例



鳥取県	陸棚域（水深28～194m）の底層水温は1.6～23.9℃でした。
島根県	陸棚上（水深86～141m）の底層水温は8.2～19.6℃でした。
山口県	陸棚上（63～140m）の底層水温は4.9～22.4℃でした。
福岡県	沖合の底層水温は17.0～19.2℃で、やや高め～かなり高めでした。
佐賀県	壱岐水道の底層水温は23.4～25.4℃、対馬東水道は15.3～23.7℃で、平年値と比べ+0.3～+2.8℃でした。
長崎県	8月上旬の五島西沖底層水温は観測していません。